

## 【下肢静脈瘤専門外来】

専門外来日：毎週木曜日

午後

場所：心臓血管外科外来

予約方法：コールセンターへ

電話番号：0800-7000-888

(フリーダイヤル)

『下肢静脈瘤専門外来の申し込み』とお伝えください。



佐世保中央病院は、**長崎県北医療圏**では唯一、**保険診療で血管内レーザー焼灼術が行える施設**となりました。

- ・入院期間や医療費のことで躊躇されていた方！
  - ・足の事でお悩みの方！
- 当院の静脈瘤専門外来まで、どうぞお気軽にお問い合わせください。



社会医療法人財団 白十字会  
佐世保中央病院



土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

※ 救急部：24時間体制

### 地域医療支援病院

当院は、地域医療支援病院として、かかりつけ医と役割や診療機能の分担を行っています。病状が安定している患者様については日常の診療はかかりつけ医を受診していただき、専門的な検査や、高度な治療が必要になった場合に、かかりつけ医からの【紹介状】により当院で対応させていただきます。【紹介状】をお持ちでない場合診療費のほかに選定療養費として4,200円(税込・自費)をご負担いただきます。

### 外来時間帯予約制

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、事前にご連絡いただき、診療のご予約をお願い致します。

### 診療予約専用電話番号

紹介状をお持ちでない方(コールセンター)

0800-7000-888(通話料無料)

受付時間：月～金曜日 8:30～17:30

紹介状をお持ちの方(紹介患者様予約窓口)

0120-33-8293(通話料無料)

平成25年2月作成

医一心①

ご案内



リーフレット



# 下肢静脈瘤専門外来

～血管内レーザー焼灼術～



社会医療法人財団 白十字会  
佐世保中央病院

<http://www.hakujujikai.or.jp/chuo/>

## 【もしかしたら下肢静脈瘤では？】

みなさん、足がボコボコ腫れていたり、こむら返りや、だるくなったりしたことはありませんか？ひょっとするとそれは、下肢静脈瘤かもしれません。

## 【下肢静脈瘤とは】

様々な原因により足先から心臓へ戻るはずの血液が、足の表面の静脈へ逆流してしまい、血管が蛇行し瘤（こぶ）になる病気です（図1）。その原因は、加齢や肥満、長時間の立ち仕事、妊娠など様々で、女性に多い病気です。下肢静脈瘤は、足の静脈が浮き出てきて目立つようになり、美容上の問題点があるだけでなく、放っておくと足のだるさやむくみ、かゆみや湿疹の原因となります。最終的には、出血、潰瘍にまで発展し、日常生活の質を落とすような結果に至りますので、放置してはいけません（図2）。

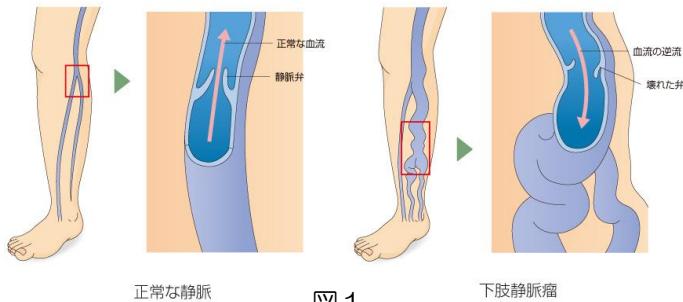


図2

## 【静脈瘤の治療法】

静脈瘤は、一人として同じではありませんので、次の3つの治療法を組み合わせたオーダーメイド治療となります。

- ① 圧迫療法（保存的治療）  
医療用の弾性ストッキングを着用し、足全体を圧迫します。
- ② 硬化療法  
静脈瘤自体に薬剤を注入する事で血管を閉塞させます。
- ③ 外科治療  
高位結紮術、静脈瘤切除術、ストリッピング術（静脈抜去術）、レーザー焼灼術などがあります。

軽症であれば①の圧迫療法を行い、中等症以上であれば③の外科治療を中心とした治療が勧められます。ストリッピング術（静脈抜去術）は、100年以上も前から行われている古典的な外科治療ですが、壊れている静脈ごと引き抜くため、再発が少なく確実な方法で、一般的に広く行われています。

しかしながら、医学の進歩、医療機器の発達が目覚ましいものがあり、静脈瘤治療においてもレーザーを用いた先端医療が行われるようになってきました。

下肢静脈看護外来リーフレットも  
ご用意しております

## レーザー医療の3つの『低』！！

レーザー医療は3つの『低』の実現が期待される治療です。

- ① 体への負担が少ない・・・低侵襲
- ② 大きく切らない・・・低リスク
- ③ 入院日数が短く自己負担が少ない・・・低コスト

下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術は、逆流している静脈の中に光ファイバーを通し、レーザーにて血管の内側から静脈の壁を焼く治療法です（図3）。焼かれた血管は変性し硬化して閉まり、従来のストリッピング手術と同じ効果が得られます。ストリッピング術に比べ出血も少なく、傷跡もほとんど残りません。従来のレーザー焼灼術は自費診療のため、自己負担が20～30万円でしたが、当院では平成25年より保険診療で治療を開始します。入院期間は日帰りから2泊3日です。

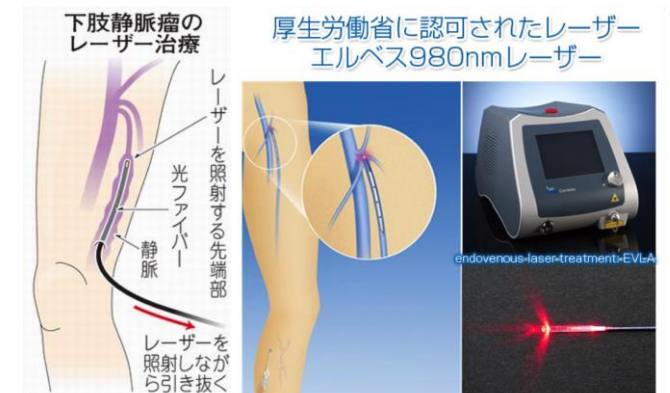


図3